

第44回日本創造学会研究大会

ーマ:「創造性で実現するWell-beingな社会」

開催日:2022年11月12日(土)~13日(日)

会場:慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎 ハイブリッド(会場×オンライン)開催



白坂成功 実行委員長 (慶応義塾大学)



前野隆司 副実行委員長 (慶応義塾大学)



当麻哲哉 プログラム委員長 (慶応義塾大学)

COVID-19により人々の暮らしや価値観が大きく変化する中において、Well-beingな社会の実現が注目を浴びています。そして、そのような社会を実現するには創造性が必須となります。そこで、本研究発表大会は「創造性で実現するWell-Beingな社会」をテーマとしました。1日目の基調講演及びパネルディスカッションでは「創造性」と「まちづくり」と「Well-being」に関わる専門家をお招きいたします。そして2日目には、創造性にかかわる多様な観点からの研究を発表していただきます。

過去2年間続いたオンラインによる研究発表大会を経て、本研究発表大会はオンライン開催で学んだオンラインの便利さと、COVID-19以前の対面による発表の良さをミックスした、ハイブリッド形式での開催といたします。また、前回大会でも好評であったデジタルポスターセッションも引き続き実施いたします。今大会では、オンラインでしか参加できない人も会場での参加が可能な人も多くの研究発表に触れることができるようにしてまいります。皆様の会場あるいはオンラインでの参加をお待ちしております。 (実行委員長 白坂成功)

基調講演



デジタル田園都市国家構想と Well-Beingについて

デジタル庁統括官 村上敬亮氏

令和3年9月の設立から約1年が経過したデジタル庁では、地方のデジタル実装を進め、地域の豊かさをそのままに、利便性を備えた魅力あふれる新たなまちづくりを進める「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、地域幸福度(Well-Being)指標の計測ツールを提供し、全国でその活用を進めています。

現在地方には「人口減少・少子高齢化」、「過疎化・東京一極集中」、「地域産業の空洞化」といった社会課題が顕在化しています。デジタルはこれらを解決し、持続可能な経済社会や新たな成長を実現する可能性があります。「デジタル田園都市国家構想」における取組の背景や全体像、地域幸福度(Well-Being)指標活用のねらいや具体的な取組み事例について講演します。

〈村上敬亮氏プロフィール〉

1967年東京都出身。1990年通商産業省入省。IT政策に長らく携わった後、クールジャパン戦略の立ち上げ、COP15,16等の温暖化国際交渉、再エネの固定価格買取制度創設等に従事。2014年より内閣官房・内閣府で、地方創生業務や国家戦略特区業務に従事し、2020年7月より中小企業庁経営支援部長。2021年9月より現職。

パネルディスカッション・



ファシリテーター 白坂成功氏 パネリスト **---**

「創造性で実現するWell-beingな社会」





南雲岳彦氏

スマートシティ・インスティテュート 専務理事 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 専務執行役員

地球環境と市民が共存し、誰もが幸福になれるグリーン&デジタルなまちづくりと国づくりに従事。デジタル庁田園都市Well-Being指標委員会委員、内閣府規制改革推進会議等の国の審議会委員、自治体・民間企業のアドバイザー、世界経済フォーラム第四次産業革命日本センターフェロー、IPAデジタルアーキテクチャ・デザインセンター・アドバイザリーボードメンバー、京都大学経営管理大学院客員教授、タリン工科大学客員教授、金沢工業大学客員教授、東海大学客員教授、国際大学GLOCOM上席客員研究員、ロイヤルメルボルン工科大学シニア・フェロー等を兼任。



高尾真紀子氏

法政大学大学院政策創造研究科 教授

東京大学文学部社会心理学科卒業。長銀総合研究所に入社、経済調査、産業調査 (流通産業・ヘルスケア産業)を担当。価値総合研究所主任研究員(民間企業の コンサルティング、官公庁の受託調査に従事)を経て、2015年4月より現職。地 域ウェルビーイング・プログラム担当。現在の研究テーマは地域政策と幸福度、 シニア世代のウェルビーイングなど。



前野隆司氏

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

東京工業大学卒、東京工業大学修士課程修了。 キヤノン、慶應義塾大学理工学部教授などを経て 現在慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 ・ウェル ビーイングリサーチセンター長。博士(工学)

大 会 要 項

【参加申込締切】 会員、一般の参加申込は11月10日まで受付いたします。

日 程:2022年11月12日(土)~11月13日(日)

開催方法:ハイブリッド開催(慶應義塾大学会場×オンライン(Zoom))

※申込時に参加方法を選択

参加方法: 大会ウェブページより申込書をダウンロード/ご記入の上学会事務局に送付下さい。

http://www.japancreativity.jp/conference/44th/registration.html

※発表申込みは締切ました。

内 容:講演会/パネルディスカッション/総会報告・表彰式/研究発表/デジポス発表

参加費 : 学生2,500円、正会員3,000円、非会員4,000円(全て事前振込)

当日会場参加5,000円(現金のみ)

大会プログラム(予定) 会場+オンラインのハイブリッドプログラム

	第1日目	第2日目	
12:30	受付開始	9:00	受付・アクセス開始
13:00~13:10	開会挨拶	9:30~12:30	研究発表(会場/オンライン) デジポス発表(オンライン)
13:10~14:10	基調講演 村上敬亮氏	12:30~13:30	休憩
14:30~16:00	パネルディスカッション 南雲岳彦氏、高尾真紀子氏、 前野隆司氏 司会:白坂成功氏	13:30~16:30	研究発表(会場/オンライン) デジポス発表(オンライン)
16:15~17:20	総会報告・表彰式 フェロー就任スピーチ 高橋誠氏、前野隆司氏		終了
	終了		

【会場のご案内】

会場:横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎 日吉駅(東急東横線、東急目黒線/横浜市営地下鉄グリーンライン)徒歩1分

ご来場の皆様へお願い

来往舎1F

- ・検温ブースでの検温にご協力ください。
- ・入館の際はマスクを着用ください。
- ・食事は日吉駅周辺の店舗をご利用ください。
- ・会場からオンライン発表/視聴する場合 はご自身のPCをご持参ください。

【来往舎入り口について】 入り口はコーディネートオフィス横の入り口 となります。

その他は閉鎖されておりますので、ご注意下さい。<u>学会参加者は来往舎の入館記名簿には</u> <u>記入不要です。</u>館内にある学会受付にお進み ください。

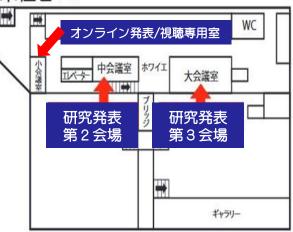


【来往舎見取図】



研究発表第1会場

来往舎 2 F



11月13日(日)発表スケジュール

	研究発表:第1会場セッションA(発表20分+質疑7分入替3分) 司会進行:豊田貞光				
時間	氏名	発表タイトル	所属		
9:30		┃ 「Z世代」におけるヒット商品認知に関する考察 −経営学部・技術基			
-10:00	豊田貞光	礎科目課題レポート分析を軸に-	産業能率大学		
10:00 -10:30	藤原由美	グローバル化の視点による国際秘書に求められる能力に関する一考察	産業能率大学/慶応 SDM研究所		
10:30 -11:00	岩本武範	備蓄品のDX化を起点とした新たな経済循環と地域小売店舗の役割に 関する論考	静岡産業大学		
11:00 -11:30	隅谷彰宏 他 システム×デザイン思考を用いた本物のブランディング		慶應義塾大学大学院		
11:30 -12:00	松浦貴志 他	ゼロトラストとトラストに関する一考察	慶應義塾大学大学院		
12:00 -12:30	田中康平 他	DEOSプロセスに沿った不確実性対応の訓練方法の提案	慶應義塾大学大学院		
	研究発表:第1会場司会進行:藤原由美	セッションB(発表20分+質疑7分入替3分)			
13:30 -14:00	島 青志 他	ビジネスイノベーションを目的としたファシリテーターに依存しない 対話型鑑賞法	慶應義塾大学大学院		
14:00	鳥谷真佐子 他	健康行動を促す介入サービスデジタルプラットフォームの提案	慶應義塾大学大学院		
14:30	深見智恵子 他	日本社会に必要な家族の再定義 – 孤立・孤独予備群へ提案する新たな ライフスタイルと集合住宅デザイン –	慶應義塾大学大学院		
15:00 -15:30	村山祐子	ユーザーとデザイナーの関係性から読み解くWell-being 〜デザイナー研究編〜	金沢工業大学		
15:30 -16:00	江川玟成	スポーツ選手のWell B eing と自己実現のための平常心	東京学芸大学		
16:00 -16:30	三原康司	「感性システム思考」によるWell-being設計 -機能設計と感性デザイン-	早稲田大学		
		セッションC(発表20分+質疑7分入替3分)			
n+ 88	司会進行:永井由佳	里 発表タイトル	所属		
時間 9:30	八石	************************************	別馬		
-10:00	野中朋美 他	性・価値共創オンラインワークショップ	立命館大学		
10:00	広瀬 毅 他	シーズ起点でのアイデア創出ワークショップ設計手法:衛星データソ リューション創出を主題として	慶應義塾大学大学院		
10:30	大浦史仁 他	課題起点ではなくビジョン起点による ワークショップの提案	慶應義塾大学大学院		
11:00	沢井和也 他	アイデア創造を支援する対話内容の 記録と再配置を用いた振り返り 手法の研究	慶應義塾大学大学院		
11:30 -12:00	山崎 真湖人 他	目指す状態からワークショップを設計する方法の提案 - スマートシ ティ・サービスの構想を題材に -	慶應義塾大学大学院		
	研究発表:第 2 会場セッション D(発表20分+質疑7分入替3分) 司会進行:國藤 進				
13:30 -14:00	國藤 進	グループ写真KJ法 原点から最前線への道	北陸先端科学技術大学 院大学		
14:00 -14:30	邱 麗 他	創造的なリサーチクエスチョンの類型と特徴 一RQフレームワーク作成の可能性の検討一	北海道大学大学院		
14:30 -15:00	中田実紀子 他	ジェンダー・バイアス克服に向けた自己対話ツールの提案	慶應義塾大学大学院		
15:00 -15:30	青山英里子 他	つながりを形成するきっかけとしての自己開示と類似性の認知促進 ツールの提案	慶應義塾大学大学院		
15:30 -16:00	松前あかね 他	渾沌学 個人と社会の潮目から:渾沌学から創造学へ	九州大学大学院		
16:00 -16:30	岩本慧悟 他	創造性が高まるグループメンバー構成は? ペアでの創造性課題遂行 場面における性格特徴の組み合わせの効果	株式会社ZENKIGEN		

	研究発表:第3会場司会進行:國枝佳明	セッションE(発表20分+質疑7分入替3分)	
時間	氏名	発表タイトル	所属
9:30	三冨敬太 他	オンライン環境とオフライン環境を想定したプロトタイピング設計の 分析	慶應義塾大学大学院
10:00 -10:30	伊藤 翼 他	嗅覚低下への関心誘起から嗅分行動を促す体験の設計手法の提案	慶應義塾大学大学院
10:30 -11:00	大野嘉子 他	大野嘉子 他 新たな料理の発想を支援するアーキテクチャフレームワークの検討	
11:00 -11:30	麻生桜子 他	食事サービスにおける受給者の情報授受・処理に着目した料理設計手 法の提案	(株)オレンジ・アンド・ パートナーズ
11:30 -12:00	小國美貴	里山暮らしを創造する-石川県小松市西俣町を事例に-	北陸先端科学技術大学 院大学
	研究発表:第3会場司会進行:小粥幹夫	セッションF (発表20分+質疑7分入替3分)	
13:30 -14:00	小粥幹夫	思考とは?探究とSTEAM化 思考力を高める探究とSTEAM化?	ひとつなぎの会
14:00 -14:30	髙瀬和也 他	小学生向けデザイン思考支援ツールの開発と試行 ー観察・分析プロセスを通じた「問い」の生成に着目してー	早稲田大学大学院
14:30 -15:00	尾澤知典 他	小学校児童における順序概念を手がかりとした創造性教育 ―「すると、どうなる?法」を用いた実践 ―	北陸先端科学技術大学 院大学
15:00 -15:30	岡田芳樹 他	デザイン思考を用いた小学生の「校内ナッジ」開発による創造性向上 の検証	慶應義塾大学大学院
15:30 -16:00	西嶋賴親	WITH MUSIC, WITH LIFE. ~ミュージックビデオおよび検索サイト を活用した、若年層向け自殺予防対策提案~	中京大学
16:00 -16:30	佐藤徳紀 他	社会人メンターによる大学生チームの創造性の促進	株式会社ベネッセコー ポレーション
	研究発表:オンライ 司会進行:櫻井敬三	ン第1会場セッションG(発表20分+質疑7分入替3分)	
時間	氏名	発表タイトル	所属
10:00 -10:30	高橋誠	日本創造学会員の考える 「創造の定義」-1983年と2022年の比較	㈱創造開発研究所
10:30 -11:00	櫻井敬三	創造的課題解決には分析と統合の両方が必要	日本経済大学大学院
11:00 -11:30	井原 颯太 他	視野の広さが発散的思考に与える影響の評価構想	久留米大学
11:30 -12:00	小波盛佳	発想を促す動詞連想法・形容詞連想法の提案	小波技術士事務所
	研究発表:オンライ 司会進行:保井俊之	ン第 1 会場セッションH(発表20分+質疑7分入替3分)	
13:30 -14:00	古川洋章	汎用人工知能による知識創造活動に関する一考察	北九州市立大学
14:00 -14:30	中島琢郎	財務諸表を起点とした新事業案の仮説生成法	清泉女学院短期大学
14:30 -15:00	小出 実	海外特許出願動向とファミリー特許出願手続きの実務に関する考察 ファミリー特許の出願戦略	株式会社オプトクリ エーション
15:00 -15:30	森田純恵 他	オランダの農業ビジネス国にみるシステムイノベーションからの考察 ~地方創生:農業と情報工学の融合~	秋田県立大学
15:30 -16:00	七條花恋 他	共創ワーク中の音声コミュニケーションと「響きあい」発現との関係	九州大学大学院
16:00 -16:30	東海林慶祐 他	共創時「響きあい」定量的評価方法論の検討	九州大学大学院

	研究発表:オンライン第 2 会場セッション I (発表20分+質疑7分入替3分) 司会進行:西浦和樹			
時間	氏名	発表タイトル	所属	
10:00	池田文人	創造的問いの創出を支援する教育プログラムの開発	北海道大学	
10:30 -11:00	浪平博人	デジタル美の創造	動視化技術研究所	
11:00	浪平博人	動的視覚化による創造的教育方法論	動視化技術研究所	
11:30 -12:00	西浦和樹	命の尊さを学ぶ防災教育プログラム開発に関する研究 災害発生時の発想(ひらめき)と解決策(避難行動)を促す効果的な 研修プログラムとは?	宮城学院女子大学	
		表:セッション J (発表7分+質疑5分入替3分)		
	司会進行:古川洋章	70.4.4.4.4.	T	
時間	氏名	発表タイトル	所属	
9:45	石井力重	創造的休憩〜ブレインストーミングの休憩時に何をすると、創造的思 考にプラスになるのか〜	アイデアプラント	
10:00	馬場康之	2019~2022年のインプロ(即興劇)研究の経過報告(リアル〜Web 会議システム〜メタバース)	㈱毎日放送	
10:15 -10:30	本田杉子 他	IT化されたエンターテインメント施設や VR 空間の設計においての避難誘導サインの視覚効果の向上に関する研究	慶應義塾大学大学院	
10:30 -10:45	伴映里佳	接客サービス業の働くモチベーション回復のための 推し活システム を用いたチップ制度の提案	中京大学	
10:45 -11:00	井出 充 他	システム×デザイン思考を用いた企業内人材育成プログラムの実践	慶應義塾大学大学院	
11:00 -11:15	藤島 廉	2020 東京オリンピック・パラリンピックを題材とした体育理論の授 業実践 -高校3 年生を対象として-	広島大学	
11:15 -11:30	宮外真理子	子育て世帯の地方関係人口を増やす「親子ワーケーション」システム	有限会社フォント	
11:30 -11:45	米田巖根 他	高校生を対象とした「システム×デザイン思考」教育の実践効果	帝京科学大学	
11:45 -12:00	神藤彩乃 他	企画・間接部門とサービス業務部門におけるエンパワメントを考慮し た従業員満足構造の分析	立命館大学大学院	
	デジタルポスター発表:セッション K (発表7分+質疑5分入替3分) 司会進行:川路崇博			
13:30 -13:45	嶋田知子 他	公共財の心理的所有感形成が公共財管理への関わり方に与える影響	九州大学大学院	
13:45 -14:00	平沢洸 他	視聴覚刺激の低減が創造性に与える影響	九州大学大学院	
14:00 -14:15	若林絋平 他	視覚の共感覚 形成と暗記学習への活用	九州大学大学院	
14:15 -14:30	真岸聖奈 他	筆跡が形成する第一印象と評価者性格特性の関係	九州大学大学院	
14:30 -14:45	青木万由子 他	温冷覚に着目した「馴染み」の形成	九州大学大学院	
14:45 -15:00	Ehkirch Quentin 他	Understanding human interactions in co-creation through intersubjectivity	九州大学大学院	
15:00 -15:15	Stephanie Power Chacin Yamarthe 他	相互主観性と知識共有に与える楽しみの影響	九州大学大学院	
15:15 -15:30	Elly Fitriana Soedjito 他	The Role of Awareness and Experience in Designing Social Inclusion	九州大学大学院	
15:30 -15:45	川崎太雅	選択型動画コンテンツを用いた旅行計画支援システムの開発	九州大学大学院	
15:45 -16:00	増田由希乃 他	若年成人期における自閉傾向と創造性の関係の研究	国際基督教大学大学院	

▲▼▲第75回クリエイティブサロン (2022年10月8日) 開催報告▲▼▲

第1部 講演会

『人類学的フィールドワークにおける試行錯誤と気づき』

講師:比嘉夏子氏

合同会社メッシュワーク共同創業者、株式会社Hub Tokyo顧問、岡山大学文明動態学研究所客員研究員

講師プロフィール:

ポリネシア島嶼社会の経済実践や日常的相互行為について継続的なフィールドワークを行なう一方、「人類学者の目をインストールする」ことをミッションとする会社を設立し、企業とのプロジェクトを積極的に実施している。主著に『贈与とふるまいの人類学 ―トンガ王国の〈経済〉実践』(単著、京都大学学術出版会)『地道に取り組むイノベーション―人類学者と制度経済学者がみた現場』(共編著、ナカニシヤ出版)などがある。



※第75回クリエイティブサロンでの比嘉夏子氏の講演・パネルディスカッションは下記のURLからオンデマンド視聴できます。

https://youtu.be/ruE WYcxGzw

◇メッシュワーク

蛇行しながら他の線と交わり、結び目 をつくり、無限に伸びゆく線

=生成変化する線 =生の軌跡

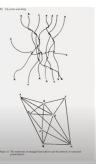
=「徒歩旅行」のアナロジー

◇ネットワーク

点と点を結ぶ直線

=最短距離

= 「輸送」のアナロジー ティム・インゴルド『ラインズ線の文化史』





第2部 パネルディスカッション

パネリスト&司会進行:安松健氏

(株)オージス総研 行動観察リフレーム本部、大阪教育大学特任准教授

パネリスト:水上優氏

人類学者、修士(人間・環境学,京都大学)、合同会社メッシュワーク共同創業者

パネリスト:比嘉夏子氏



進行兼パネリスト 安松健氏



パネリスト 水上優氏



パネリスト 比嘉夏子氏



◆◆◆新入会員紹介◆◆◆

入会者 (入会順)

氏名	会員種	所属	住所	専門分野
西村拓一	正会員	北陸先端科学技術大学院大学	東京都	知識工学・パターン認識
井原颯太	学生会員	久留米大学	福岡県	社会学
Sandra Healy	正会員	京都工芸繊維大学	兵庫県	Applied linguistics Intercultural communication
加藤淳	正会員	加藤淳 税理士事務所	愛知県	組織論・リーダーシップ論
伊藤翼	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	システム・デザイン・マネジメント ERP Implementation
邱 麗	学生会員	北海道大学大学院	北海道	科学教育・認知科学
七條花恋	学生会員	九州大学大学院	福岡県	創造性・創造工学
中田実紀子	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	システム・デザインマネジメント ジェンダー論
田中康平	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	超小型衛星・システムズエンジニ アリング
大野嘉子	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	システムズエンジニアリング
宮外真理子	正会員	慶應義塾大学大学院	大阪府	システム・デザイン・マネジメント 言語・文学 (ドイツ)
松浦貴志	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	信頼(Trust)とコンフリクト (Conflict)・デザイン思考
山崎真湖人	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	システムズエンジニアリング サービスデザイン
岩本武範	正会員	静岡産業大学	静岡県	社会システム工学・データマネジ メント
沢井和也	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	SDM学・機械工学
大浦史仁	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	ワークショップ設計・システムズ エンジニアリング
広瀬 毅	正会員	慶應義塾大学大学院	神奈川県	新規事業創出・アイデア創出
岩本慧悟	学生会員	東洋大学大学院	埼玉県	産業/組織心理学・社会心理学
青山英里子	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	システムデザイン・マネジメント コミュニティ
鳥谷真佐子	正会員	慶應義塾大学大学院	神奈川県	科学技術政策 システムデザイン・マネジメント
麻生桜子	正会員	株式会社オレンジ・アンド・ パートナーズ	東京都	食マネジメント学
隅谷彰宏	正会員	慶應義塾大学大学院	東京都	ラグジュアリー
深見智恵子	学生会員	慶應義塾大学大学院	東京都	経営学・社会心理学



日本創造学会 論文賞 (Vol.25)

日本創造学会論文賞は、学会賞委員会による審査の結果、次の方が受賞されました。

氏名:尾澤 知典 由井薗 隆也 (北陸先端科学技術大学院大学) (論文タイトル)

小学校高学年児童における概念を用いた創造性教育

抽象化と具体化を用いたポンプチャートの開発による概念使用を志向した創造性態 度の育成

氏名:由田 徹 藪内 公美, 永井 由佳里 (北陸先端科学技術大学院大学) (論文タイトル)

デザインの創造性向上にむけた感性要求の獲得方法

避難所用簡易間仕切りシステムの事例研究

会員総会について

本年度も"書面による総会"を実施

2022年度日本創造学会総会は昨年度と同様に参集による総会を行わず、会員の皆様 へ書面(メール)による書類送付を実施、その返信をもって決議といたします。

書面による総会の評決結果は研究大会1日目、11月12日16時15分から開催される総 会報告の時間に理事長より報告致します。学会賞の表彰は、総会報告時に行います。

書籍紹介

今帰仁御神 上下巻 著者:比嘉 佑典 ゆい出版 各3850円(税込)



比嘉佑典ひが・ゆうてん

沖縄史解釈の大作。

1940年沖縄県名護市生まれ。東洋大学アジア文 化研究所長、日本創造学会理事長、華中科技大 学顧問教授、公立大学法人名桜大学理事長など を歴任。東洋大学名誉教授、日本創造学会名誉 会長。著書に「沖縄チャンプルー文化創造論」 「遊びと創造性の研究 一遊びの創造性理論の 構築一│など。

東アジア研究の学術界を久しく主導した比 嘉佑典氏の、沖縄の文化風土・沖縄史への 深い見識と綿密な歴史精査から導く斬新な

事務局メッセージ

パンデミック以降の新しい価値観の時代、豊かさ の指標は、GDPで表されるモノの豊かさから、心豊 かに、幸福に生きること(Well-being)であると 人々は感じ始めています。そして、一人ひとりの多 様な幸せが実現できる社会の変革が望まれています。 第44回大会の講演/パネルでは、創造性、Wellbeing、街つくりの視点から、各専門家のお話をお聞 きします。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(事務局:比嘉)

日本創造学会 ニューズレタ 2022年10月発行(No.3) 日本創造学会事務局 発行人 : 永井由佳里

編集担当:比嘉由佳里 〒272-0031千葉県市川市平田

1 - 10 - 2

Tel 080-3465-6152

e-mail: jcs-info@japancreativity.jp